

# 平成26年度当初予算 予算要求シート

整理番号	-	マスタープラン 3つの挑戦	-	マスタープラン 施策番号	1 6	-	3 3	局・課名	建設局・連続立体推進課
区分	重点 -				-	-	-		(単位 千円)

事業名	南海本線連続立体交差事業				
事業費	946,716	1,895,651	1,801,484		
事業期間	H18~H29	全体事業費	42,361,000		
事業目的	<p>鉄道の高架化により7箇所の踏切を除却し、合わせて側道、駅前線を整備することにより、安全で円滑な交通の確保、一体的なまちづくりの実現及び良好な生活環境を確保する。</p>				
事業内容	<p><b>今年度要求のポイント</b></p> <p>仮線工事の推進、本体工事の早期着工をめざし、事業用地の取得、鉄道施設の設計、関連道路の暫定整備工事などを進めていく。</p>				
事業内容	主な要求内容 (単位：千円)				
<p><b>【連続立体交差事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南海本線の石津川～高石市境界付近の連続立体交差化 (約2.7km)</li> <li>・踏切7箇所 (うちボトルネック踏切3箇所) の除去</li> <li>・全体事業費：約42.3億円 (高架施設・側道整備費含む)</li> <li>・関連側道：約2.9km (東側：約1.1km、西側：約1.8km)</li> <li>・連続立体交差化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅</li> </ul> <p>(※ボトルネック踏切：自動車、自転車及び歩行者の踏切交通遮断量が5万台(人)時/日以上)</p> <p><b>【駅前線整備事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜寺公園駅前線 (延長69m、幅員20m、駅前交通広場3,700㎡)</li> <li>・諏訪ノ森駅前線 (延長90m、幅員18m、駅前交通広場1,300㎡)</li> </ul> <p><b>【浜寺公園駅及び諏訪ノ森駅駅舎保存活用事業】</b></p> <p>工事に支障となる浜寺公園駅及び諏訪ノ森駅駅舎は、それぞれ明治40年、大正8年に建築された歴史的建造物であることから、次世代へ文化財的価値が継承できるような市民と協働し保存活用を行う。</p> <p>また、駅周辺デザインについては、駅舎及び駅前交通広場等計画提案競技の最優秀案をもとに、基本設計を行い、将来の建設時の目標を決定する。</p>	項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等	
	南海本線連続立体交差事業及び関連事業委託料	64,140	68,600		支障物件調査業務、現駅舎活用検討業務等
	公有財産購入費	875,057	685,411		買収予定面積 2,851㎡
	補償・補填及び賠償金	411,267	148,704		支障物件補償予定数4件、占用物件移設
	工事請負費等	208,800	158,000		仮側道、駅前線暫定整備工事等
	負担金・補助金	274,246	668,456		高架構造物詳細設計、仮線工事 (仮駅舎)
	連続立体交差事業無利子貸付金	50,000	50,000		国負担：25,000千円、堺市負担：25,000千円
	その他	12,141	22,313		消耗品費・印刷製本費等
	合計	1,895,651	1,801,484		
	スケジュール (経過及び今後展開)	その他 特記事項			
<p><b>【経過(～25年度)】</b></p> <p>H15年度 着工準備採択 H17年度 都市計画決定 H18年度 事業認可取得 (連続立体交差事業及び関連側道、諏訪ノ森駅前線) H19～22年度 用地買収、高架構造物の設計等 H20年度 駅舎保存活用構想策定 H25年度 基本協定締結 駅舎及び駅前交通広場等計画提案競技実施</p>	<p><b>【26年度】</b></p> <p>用地買収、関連道路等暫定整備 高架構造物設計、仮駅舎及び仮線工事</p>	<p><b>【今後(27年度～)】</b></p> <p>用地買収、仮側道整備、仮駅舎及び仮線工事の推進、高架工事着手</p>	<p>用地買収率(面積比)： 約81% (H25.9末現在)</p>		